

MUVE™ B330

無人航空機システム用生体検出・収集機器



MUVE B330は、無人航空機(R70)用に設計された生物検出・収集装置で、移動しながら生物脅威をリアルタイムに監視することができます。

B330は、IBAC製品群の性能を活用し、小型・軽量に最適化された構成になっています。

SkyRanger® R70は、MUVE B330を搭載するUAVとして使用します。直感的で使いやすく、メンテナンスが最小限で済むように設計されています。センサーの表示は、ミッション・コントロール・ステーション (MCS) を介して行われます。

警告や収集の状況はMCSに表示され、脅威を知らせるだけでなく、サンプルが収集されている状況を確認することができます。

MUVE B330は、遠隔地や下方の生物学的脅威を特定することで、戦闘部隊に次のレベルの保護を提供します。

安全な距離から現場を把握します

危険な状況が存在する、または予測される場合、MUVE B330を使用して初期判断を行います。

- 迅速な空気収集により、状況をリアルタイムで確認できます。
- 危険な現場に近づく前に十分な情報に基づき意思決定を下すことが可能です。
- 脅威の発生源を特定し、現場での進行を追跡します。

アクションまでの時間を大幅に短縮

数分での迅速な装備が可能

- 空から困難な地形をカバーし、脅威を見極めます
- 脅威の周辺を迅速に評価します。
- 危険な状態を検知するとアラームが作動します。
- アラーム表示による自動サンプル収集

完全統合・状況認識

ビジュアルやB330の表示を確認し現場を総合的に把握します。

- MCSアプリケーションにより、MUVE B330ペイロードをR70に差し込むことで操作可能
- MCS内の地図上に、ピンドロップで分かりやすく脅威を視覚的に表示
- 複雑なデータを分析、記録し、分かりやすいビジュアルオーバーレイで判断することができます。

仕様

一般事項		MUVE B330
技術概要		紫外レーザー誘起蛍光(LIF)
サンプリングと分析		
サンプル紹介		空気中の粒子；トリガー式エアロゾルサンプルコレクター
サンプリング段階		エアロゾル：流量4.0 L/分 (0.14 ft ³ /分)
脅威		芽胞、植物性細菌、ウイルス、毒素、粒子径：0.7~10ミクロン
感度		100粒子/L (空气中) 未満
サンプリングと分析		動作時の連続サンプリング
サンプル収集		統合的なサンプル収集
システムインターフェース		
表示・警告		ミッション・コントロール・ステーション (MCS)
出力		アラームステータス、診断ステータス、コレクターステータス
データ保管		16GBの内蔵ストレージ
トレーニング要件		<8時間
電力		
入力電圧		DC16~36V
消費電力		10W (通常動作時)、12W (収集動作時)
冷温始動時間		<5分
環境		
動作温度 (周囲温度)		-32~49 °C
使用湿度		5%~99% (結露なし)
保管温度		-39~52 °C
一体型サンプル採集の仕様		
サンプリング方法		ドライ収集
消費電力量		2ワット
最大フローレート		30 L/分
粒子サイズ		1~10ミクロン
収集媒体		サンプルディスク
サンプル回収		ピン内のサンプルディスクから液体バッファーを使用しサンプル抽出

一般事項		MUVE B330
通信		イーサネット通信
特徴		
寸法 (長さ×幅×高さ)		19.3 x 19.3 x 21.6 cm
重量		1.44kg
外装・素材		ウインドフォーム®SP (ポリアミド系複合材、カーボン充填材)

本製品は、米国の輸出規制の対象であり、米国外の個人または関係者に輸出、再輸出、または譲渡する前に、米国の承認が必要な場合があります。米国法に反する転用は禁止されています。Teledyne FLIR, LLC 製品の管轄と分類の確認については、exportquestions@flir.com までお問い合わせください。
改訂日：06/02/22
MUVE_B330_Datasheet-A4 22-0526